

晃の園だより



駆け足で冬がやってきました。朝も昼も夕方もそして夜も、しっかりと冷たさに包まれる毎日です。そしていよいよカレンダーも最後の一枚、12月となりました。会話にも年の瀬や来年の話題が出るようになってきて、いよいよ師走の気配が盛り上がってきています。

そんな冬らしい気温の、でも天気の良い日に屋上で焼き芋を楽しむ企画がありました。暖かい屋内から外にでると、当たり前冷たい外の空気が身体を包みこみます。『寒いねぇ…』それから炭の焼ける匂いに気付いて。『ああ、こっちで』芋を焼いているドラム缶の近くに来て『あったかい』とにっこり。温められた快適な屋内では感じる事の出来ない刺激がそこにはありました。

風邪を引かないように、体調を崩さないように、お腹の調子を壊さないように…身体をいたわることは勿論大切です。でも時々、ちょっとした刺激を五感で感じる事があった方が、毎日の暮らしは楽しく、そして豊かになる気がします。



秋の味覚は色々あれど...秋はやっぱりお芋が主役です

収穫の秋。晃の園の中庭では、管理人さんが大切に育ててくれたさつま芋が沢山収穫できました。そしてそれらは、晃の園自慢のドラム缶グリルで美味しい焼き芋へと姿を変えます。もう10年以上前に、地元の方が作成し寄付してくださったこのドラム缶グリルは、毎年秋の焼き物イベントで引っ張りだこになる人気モノです。

洗ったり包んだりの準備作業も楽しいし、焼けるのを待つ間もまた楽しい時間となります。勿論、食べる時が一番の楽しみなのはいうまでもありませんね。



場所を変え、芋を変えて、10年選手のドラム缶グリルは、あちこちで入居者様の笑顔を創り出してくれました。準備や調理の作業に携わってくれた職員さんたちもお疲れ様でした。



頂きモノの里芋も美味！

ご家族様から頂いた沢山の里芋も、さっそく調理して美味しく頂きました。元々売り物用に育てられていた里芋たちはどれも大きくて立派な姿で、分けていただくのが申し訳ないくらいでした。ごちそう様です。そして本当にありがとうございました。



実習生さんとのふれあいと思い出

晃の園では、年間を通して大勢の実習生さんを受け入れています。短い限られた期間の中だからこそ、実習生さんとの一期一会は入居者様の中に思い出を残していってくれます。



入居者様の毎日の暮らしの中で、必要不可欠な援助の場面は沢山あります。実習生

さんの場合、それ以外の時間を入居者様と共に過ごすことがどうしても多くなるのですが、だからこそ実現できるふれ合いが沢山あるというのも事実です。

そんな実習生さんたちを一番羨ましく思っているのは、他にもない、現場の職員さんたちなのかもしれません。



中庭でイルミネーションの点灯をはじめました

管理人さんが中庭にイルミネーションを飾ってくれました。『俺はこんなのよくわからないよ…』と言いながら、それでもあれこれ工夫しながらの作業でした。



出来上がりはというと…見てのとおりとても立派なものとなりました。なんと犬の置物にまで電飾が飾られています。

夕暮れが早いことも幸いして、色とりどりのイルミネーションは、廊下を行く人たちの目を楽しませてくれています。



普段の生活から

私たちの暮らしは、なにげない毎日の積み重ねでできています



近所の無人売買まで、柿を買いにやってきました。ここ富沢は柿農家も沢山あって、美味しい柿を手に入れるのに苦労しません。外の空気はひんやり冷たいですが、天気の良い日にちょっと出かけてのお買いものは気持ちのいいものですね。



差し込む陽射しが暖かい廊下を入居者様と一緒に散歩しました。途中廊下に飾ってある写真を見てお話しをしたり、もう12月になったので「1年が経つのが早いね」と話したりと、話のつきない楽しい散歩となりました。



ある職員さんが、土の耕しから肥料ふり、花の植え替えまでの作業をこつこつと行ってくれました。おかげで少し寂しかったバルコニーが、緑とお花でパッと明るくなりました。せっかくなので入居者様をモデルに写真をパシャ！



晃の園ショートステイ通信



秋の味覚、さんまを炭火焼きで！

毎月恒例の食の企画では、秋の味覚さんまを炭火焼きでお楽しみいただきました。食堂の裏庭で炭火をおこし、皆さんの見ている前で調理を行いました。真っ赤な炭のはじける音、煙のにおい、そしてさんまの焼ける様子...利用者様からも、「炭で焼いているのか？おいしそうな匂いだな」との声が聞かれました。



用意したさんまは全て綺麗に焼き上がり、食卓に並びました。大根おろしも用意して、お好みで醤油を垂らしていただきました。

皆さん箸を上手に使われて、パリッと焼きあがった皮や、ふんわりとした身を存分に楽しまれ、後には綺麗な骨だけが皿に残っていました。



今年も一年お世話になりました

晃の園ショートステイでは、今年は福祉用具の導入の他、機能訓練サービスの充実をすすめてまいりました。これらのことに加えて、これからやりたいことも沢山ある晃の園ショートステイですが、サービス向上の階段を一段ずつコツコツと登っていきたいと思います。

今年も一年お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いたします。

感染症予防にご協力ください

- ☛ 受付での手の消毒
- ☛ マスクの着用

また体調に不安のある方は、面会をご遠慮いただきますようお願いいたします。様々な取り組みを実施した昨シーズンは、園内でのインフルエンザ発症者0(ゼロ)を達成することが出来ました。この冬も、園内での発症ゼロを目指して、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

インフルエンザ等の感染症が流行する季節となりました。晃の園においても、様々な対応を開始しておりますが、来園される皆様にもご協力をお願いいたします。



社会福祉法人駿河会 特別養護老人ホーム晃の園 平成 28 年 12 月 発行
〒421-1311 静岡県静岡市葵区富沢 1542-39
電話 054-270-1210 ホームページ : <http://www.surugakai.net/hikari/>